学校番号	３０１８

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「論理国語」　（数研出版）						
副教材等	定番小説選　（数研出版）　１日１講文学　（三省堂） 常用漢字ダブルクリア（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指します。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるように実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	筆者の逆説的言説を理解したうえで、異なる事例を考え、論理的に説明する。 ［教材］ 胆力について 内田樹	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[書]：「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 c：文章の内容に適した具体例を粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート 発表・報告 ノート
	筆者の主張を踏まえ、事物を抽象的にとらえることの利点がわかる具体的事例を日常生活の中から考える。 ［教材］ 「具体」から「抽象」へ 森博嗣	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分 の考えを広げたり深めたりしている。 c：文章の内容に適した具体例を粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート 発表・報告 ノート
	「添削」「推敲」についての筆者の考えと、近代芸術の問題点の内容をとらえる。 ［教材］ 添削の思想 外山滋比古	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて文章を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート 発表・報告 ノート
	環境問題について筆者の意見の論理をとらえる。 ［教材］ 未来世代への責任 岩井克人	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観 と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：「未来世代への責任」の意味を積極的に読み解いたうえで、学習課題に沿って自分の意見を具体的に述べようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート 発表・報告 ノート
	筆者が言葉の使い方について「論理的」「非論理的」と表現する内容を理解する。 ［教材］ 日本語は非論理的か 野矢茂樹	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]：「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 c：課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート 発表・報告 ノート
	自然の「普遍的価値」「多元的価値」と、筆者の考える〈環境倫	a：情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート 発表・報告

	理〉〈環境道徳〉の内容を読み取る。 ［教材］ 野生の「クジラ」と人間の「鯨」 関陽子	b[読]:「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 c: 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。			ノート
	人々の精神状態を「安楽への隷属」と表現する筆者の意図を読み取る。 ［教材］ 「安楽」への全体主義 藤田省三	a: 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]:「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。 c: 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート 発表・報告 ノート
	言葉の性質についての筆者の考えを読み取る。 ［教材］ 国境を越える言葉 長田弘	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]:「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c: 筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート 発表・報告 ノート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間